

スズキ相良工場、エンジン生産 累計2000万基を達成

スズキ株式会社の相良工場（静岡県牧之原市）は、2020年3月2日にエンジンの累計生産2,000万基を達成した。

相良工場は、1994年11月から国内・海外向け四輪車エンジンの生産工場として稼働を開始し、2000年1月に累計100万基、2004年10月に累計500万基、2008年8月に累計1,000万基を達成している。

現在、相良工場では、国内・海外向けを含め、軽自動車用の660ccから小型車用の1,600ccまでの10種類のエンジンを生産しており、国内は相良工場、湖西工場、磐田工場に、海外は欧州等に出荷している。2019年のエンジン生産実績は約68万基であった。

相良工場は、エンジン主要部品の鋳造・機械加工、エンジンの組立、完成車の組立をしており、2019年の完成車生産実績は約25万台であった。

●エンジン生産台数の推移

1994年	11月	生産開始
2000年	1月	累計 100万基達成
2001年	10月	累計 200万基達成
2002年	10月	累計 300万基達成
2003年	10月	累計 400万基達成
2004年	10月	累計 500万基達成
2008年	8月	累計 1,000万基達成
2013年	3月	累計 1,500万基達成

●相良工場の概要（2019年3月31日現在）

所在地	静岡県牧之原市白井 1111
業務内容	小型車および四輪車エンジンの組立、エンジン主要部品の鋳造及び機械加工等
敷地面積	1,970,000m ²
建物面積	275,000m ²
従業員数	1,805人